

経営発達支援計画評価委員会 報告書

多可町商工会 令和1年度下半期

専門家名	中小企業診断士 伊藤勢津子
事業名	多可町商工会経営発達支援計画 令和元年度下半期検証委員会（令和2年7月）書面評価
役職等	多可町商工会経営発達支援計画 検証委員会 委員長

【評価・検証について】

令和元年度下期の実施状況について検証した結果、概ね計画どおりに順調に実践されていることを確認しました。各事業におけるコメントは下記のとおりです。

【I. 経営発達支援事業の内容】

1. 地域の経済動向調査に関すること

コメント

I-①市場調査支援及び地域経済動向の把握と情報提供

経済動向資料の作成・公表

●資料 P2-4

目標	実施結果
3回	3回

・調査報告書は重要な点については、色付けや下線がされており、見やすい。

・世界情勢から北播磨、多可町地域に至るまで、マクロ的からミクロ的な視点で記載されており、より参考になりやすい。

・今後はHPの掲載だけでなく、あらかじめ目的やターゲットを想定した効果的な活用方法が求められる。

I-②繊維業界に特化した経済動向の把握と情報提供

播州織業界への資料提供（経済動向資料分）

●資料 P5-7

目標	実施結果
3回	3回

2. 経営状況の分析に関すること

II-①経営状況の分析及びフォローアップの実施

個社ごとの経営分析

目標	実施結果
300件	259件

・持続化補助金や経営革新計画、マル経など様々な補助金や融資の支援を通じて経営分析がされており、半数以上占めている。

・個社ごとの強み弱み、顧客ニーズ、財務などしっかりとした経営分析が行われており、目標件数には達していないが十分な内容と判断する。

	申請件数	採択件数
持続化補助金	21件	21件
ものづくり補助金	22件	5件
多可町創業・起業支援事業補助金	5件	5件
県事業継続補助金	5件	5件
県起業家支援事業補助金	1件	1件
多可町中小企業販路開拓支援補助金	3件	3件
がんばる小規模事業者支援事業補助金	1件	
海外展開支援事業助成金	1件	
経営革新計画	11件	3件(8件)※
経営力向上計画	2件	2件

事業継続力強化計画	4件	1件 (3件)	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回件数は目標を十分クリアできている。 ・1人当たりの月間、経営指導員 35件、経営指導員補助 35件、経営指導員以外 20件、その他職員 5件と目標件数を定め、巡回件数管理表で共有されていたことが、目標達成につながっている。業務多忙中、目標達成され、大きく評価できる。
先端設備導入計画	12件	4件 (8件)	
ローカルベンチマーク	5件		
マル普貸付創業計画書	1件		
マル経推薦	28件	28件	
財務診断	137件		

※ () 内は支援中

巡回件数

目標	実施結果
3,200件	3,401件

3. 事業計画策定支援に関すること

Ⅲ-①事業ライフサイクルの見極めと伴走型支援体制の強化
 小規模事業者アンケート調査 回収率 (件数)

目標	実施結果
30%以上(300件)	37.6% (315件)

IT関連の留意すべき事項がもれていたことを反省。アンケート調査の必要性と検証の整合性を理解するよう次回につなげたい。

・2年前の回収率 20%以上から今年度は 37.6%回収率が高まり目標値を達成できている。
 ・アンケート結果から、小規模事業者の実態や要望を把握し、今後の経営指導に繋げていただきたい。
 ・IT関連やその時に応じた内容を盛り込んで調査いただきたい。

Ⅲ-②支援ニーズに応じた事業計画作成支援

目標	実施結果
80件	88件

今年度からの新施策「県事業継続支援事業」も一次・二次公募で 5 件全件採択となり、事業承継を円滑に進める支援ができた
 指導員以外の職員（新人職員除く）も申請支援に携わり、支援体制が年々強化されてきている

兵庫県よろず支援拠点活用 ●資料 P8

目標	実施結果
20件	46件

●2/14に“クラウドファンディング”をテーマに「クラウドファンディングミニセミナー」を開催。講師：細谷佳史氏

・支援ニーズが高い事業承継にしっかりと補助金を活用して対応できている。
 ・「事業継続力強化計画」にも今後重要視し、新たな支援をされることを期待する。
 ・国のよろず支援と連携がとれている。今後も連携してミニセミナーや専門家派遣を活用して支援いただきたい。

Ⅲ-③創業計画支援と創業予備軍の調査及び支援強化
 創業支援数 ●資料 P8-9

目標	実施結果
10件以上	22件

多可町内・町外と広域に募集。11月に開業する人からの申込みもあり、創業予定者にとっては超刺激的な時間を共有できる絶好の機会になっ

・創業支援数が目標値よりも2倍以上数達成している。
 ・創業者の実践できる場として空き施設の活用を手掛けており、受講後のアフターフォローがしっかり行

<p>た。創業を実現できる場所の確保が困難な人に対し、今回の創業塾で学んだ経験を実践できる・挑戦できる場を有志団体との協力のもと空き施設の活用を手掛けた。</p>	<p>われている。</p>				
<p>Ⅲ-④経営革新を含めた第二創業支援 経営革新支援企業数</p> <table border="1" data-bbox="113 327 719 416"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>実施結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10 件以上</td> <td>11 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>新事業チャレンジ塾として開催。受講申込：10 社 受講：5 社 講師：中小企業診断士 荒木慎吾氏 県経営商業課 武本氏 8 月～10 月に掛けて個別相談を実施</p>	目標	実施結果	10 件以上	11 件	<p>・最終審査をする県商業課と連携してセミナーを開催し、経営革新計画の本質がより明確になる。 ・相談窓口も充実しており、受講者にとって非常に有益なものとなっている。引き続き県商業課との連携を継続し、強化していただきたい。</p>
目標	実施結果				
10 件以上	11 件				
<p>Ⅲ-⑤事業承継支援体制の強化 事業承継支援企業数 ●資料 P9</p> <table border="1" data-bbox="113 759 719 848"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>実施結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15 件以上 (12 回)</td> <td>16 件 (12 回)</td> </tr> </tbody> </table> <p>12 月 9 日にセミナーを開催。今年度事業承継を果たした(株)びびすや百貨店の園崎社長をゲストにお迎えし、桑村講師とのトークセッション形式で行った。(参加は 16 者) 個別相談は 1 月から 2 月にかけて実施。(8 社で延べ 12 回)</p>	目標	実施結果	15 件以上 (12 回)	16 件 (12 回)	<p>・事業者の抱える課題の中で高い分野である事業承継問題であるが、今後も個別相談や神戸や大阪などの都会や他地域とのマッチングを実施することなども検討することが望まれる。</p>
目標	実施結果				
15 件以上 (12 回)	16 件 (12 回)				
<p>Ⅲ-⑥播州織業界に特化した事業計画策定支援 播州織事業者への相談支援</p> <table border="1" data-bbox="113 1155 719 1245"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>実施結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10 件以上</td> <td>13 件</td> </tr> </tbody> </table> <p><東京インターナショナルギフトショー>6 社の出展支援 <ファッションワールド東京>7 社の出展支援 5 年間の継続支援で、売上成果がしっかりと現れた。 事業者自らが販路開拓に取り組むという、<u>今までの産地にないスタイルを築き上げられた</u></p>	目標	実施結果	10 件以上	13 件	<p>・5 年間を通して、播州織業界に特化した支援を行い、積極的な展示会出展や専門家の支援などで東京や外国のブランドとあらたに取引先を開拓するなど大きな素晴らしい成果を上げている。 ・今年度、若手職人だけでなく、60 代の職人が初出展するなど、業界の輪が広がる兆しがあり、今後の広がりが期待できる。</p>
目標	実施結果				
10 件以上	13 件				

<p>4. 事業計画策定後の実施支援に関すること</p>					
<p>Ⅳ-①支援ニーズに応じた事業計画実行支援 3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】における報告と内容重複の為、記載省略</p> <p>Ⅳ-②経営情報の収集・提供に関する体制の強化 ○会員向け情報発信体制の強化 ●資料 P10</p> <table border="1" data-bbox="113 1973 719 2063"> <thead> <tr> <th>目標</th> <th>実施結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12 回以上</td> <td>12 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>毎月事業者には有用な情報を届けるために商工会員に向けた商工会通信「みみよりインフォメーション」を毎月発行している。</p>	目標	実施結果	12 回以上	12 回	<p>・「みみよりインフォメーション」が事業所に必要な情報をわかりやすくまとめ発信し、有効な情報源になっている。</p>
目標	実施結果				
12 回以上	12 回				

実施については、A4両面を改善基本として作成し、Eメール、FAXや郵送で事業所の希望の方法で送付している。

○「ミラサポ」メールマガジン購読の推進 呼びかけ

IV-③空き物件情報等の提供による経営支援

創業希望者データバンク作成

目標	実施結果
リスト化	リスト化

西脇市・多可町の連携事業である「起業・第二創業スタートアップセミナー」(8/31開催)の参加募集につなげた。

空き物件情報の提供

目標	実施結果
2千以上	2千以上

IV-④播州織事業者の事業拡大に向けた支援

3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】における報告と内容重複の為、記載省略

・今後も引き続き、多可町、西脇市、西脇商工会議所との密な連携による創業希望者と空き物件のリスト化が望まれる。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

VI-①事業者の情報発信体制の強化支援

IT化支援企業数

目標	実施結果
20社以上	66社

キャッシュレス決済対策として、ミニセミナーとセミナーを2回開催。(計36社)

ホームページ活用セミナー(11社)、クラウドファンディングセミナー(3社)およびスマート会計&レジ導入セミナー(16社)も開催した。

プレスリリース等支援

目標	実施結果
30件	30件

・地域事業者のIT関係の進捗状況の把握とともに、ITに関する支援が望まれる。

VI-②事業所の販路拡大に向けた伴走型支援

展示会等への出展支援

目標	実施結果
30件	64件

国際フロンティア産業メッセ2社、北はりまビジネスフェア1社、東京インターナショナルギフトショー6社、ファッションワールド東京7社、ほか工業・繊維・商業系展示会3社支援。ほか播州織産地博覧会8社支援等。

播州織業界への人的支援 ●資料P15

目標	実施結果
3回	3回

・毎年、展示会出展を推進し、その効果、業績があがっている。
・引き続き、積極的な販路開拓支援をしていただきたい。

II. 地域の活性化に資する取組

地域経済の活性化に資する取組

・「播州百日どり」のロゴマークを作

多可町地域活性化検討委員会開催

目標	実施結果
4回	7回

上半期は第1回のグループ会議(4/15)を皮切りに第4回(9/27)開催。下半期は第5回会議を11/8に、第6回を12/2、第7回を2/17に開催した。各委員から一年の振り返りと反省、次年度に向けた協議を行った。

ふるさと名物の検討●資料P16

目標	実施結果
1事業所	1事業所

9月1日から11月30日にかけて「播州百日どりグルメフェア&スタンプラリー」を開催。スタンプラリーに関する意見・感想を集約した。

商業にぎわい創出事業

目標	実施結果
1事業	1事業

「出前授業」は受入の学校がなく実施できず。その流れで「チラシコンテスト」も実施できず。伴走型補助金の補助対象事業とならなかった「多可まちスクール」についても、出前授業の相乗効果を狙って開催を検討していたため、結果的に実施できなかった。そのため、商業賑わいの観点から、年末大売出し・年末福引大会の支援を行った。

成しブランド強化され、更なる認知度向上に努めている。

・域情報誌「まるはり」のグルメフェアに掲載され、広く「播州百日どり」のPRができています。

・今後どのようにして、学校と連携ができるか工夫が必要になる。

・新型コロナウイルスの影響により、商業関係のさらなる支援が求められる。

【Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組】

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

東・北播磨地区商工会連絡協議会での意見交換会

目標	実施結果
実施の都度参加	実施の都度参加

経営支援事例発表大会参加

目標	実施結果
1回	2回

近隣商工会との情報交換会

目標	実施結果
1回	1回

7月10日(水)、中プラザにおいて開催。

当日は丹波市・篠山市・加東市・多可町の4商工会の経営指導員等が集まり「これからの商工会『開かれた商工会を目指して』」と題して、近藤清人講師から研修を受け、ブックカフェも見学。情報交換も行った。

金融懇談会

目標	実施結果
3回	2回

当初各金融機関との情報交換会を年3回実施する予定していたが全体意見交換会を1回、公庫との情報交換会を1回の述べ2回実施した。

・優れた経営支援事例から、支援ノウハウや最新の情報を得ることができ、経営支援のスキル強化を図り、意識向上につなげている。

・多可町商工会から5年間に2人もの全国大会での優勝者を輩出していることから、当商工会の支援が高いレベルであることが立証されている。

・金融懇談会は目標達成できておらず、また懇談会の内容が1編の協議しかできなかったことが反省にあげられている。お互いの普段感じていることなど、もっと深く協議できれば、もっと意義のある懇談会になるものと思われる。回数を増やすなど工夫して来年度に臨んでいただきたい。

2. 経営指導員等の資質向上等に関すること

全国連・県連等の研修参加

目標	実施結果
積極的参加	積極的参加

中小企業大学の研修参加

目標	実施結果
積極的参加	積極的参加

<東京校>

- 小規模企業の相談支援手法研修（横畑：7/1-3）
- 創業を成功に導く具体的な支援手法（金高：7/30-8/2）
- 円滑な事業承継・事業廃止の進め方（本庄：8/5-9）

経営指導員勉強会

目標	実施結果
12回	12回

予定通り毎月開催を実行できた。

進めている。新人職員も司会を務め、毎月の会議では、経営発達支援事業の前月事業をPDCAサイクルにもとづいて振り返り、次回さらに効果的に実施できるよう自主的に検証するとともに、次月の事業予定の確認も行った。

指導・支援マニュアル作成

目標	実施結果
随時更新	随時更新

税務に関しては、税務指導の内容を踏まえて、加筆した。

金融マニュアルは、適宜更新して充実化を図っている。マル経融資の記載方法については、整理したデータが分散している。

労務マニュアルの作成に関しては、法改正等が多く、内容の整理が追い付いていない。

・毎年、全国連、県連および中小企業大学の研修参加を積極的に行われ、その研修内容を職員にフィードバックされている。

・経営指導員のみならず、全職員の資質向上を図り、各自の目的意識をもって研修を計画的に受講できる仕組みづくりが望まれる。

・毎月経営指導員会議で各事業の実施状況の把握と評価・反省を行い、方向性と対策についてしっかりと意見交換がなされている。それを受けて次の計画に反映していくなどPDCAサイクルが着実に回されており、このことが成果に結びついていると評価できる。

・マニュアルを作成することで、担当者が代わっても、スムーズに事業の引継ぎができるよう、また不要な業務を排除するなど業務の効率化や改善も同時に行えるようになることが望ましい。

3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

多可町経営発達支援計画検証委員会

目標	実施結果
2回	2回

第1期の経営発達支援計画(5年計画)が終了した。下期は、4月に開催する予定だったが、コロナの影響で書面審査会となった。

・実績報告を受けて、毎年2回検証委員会により評価が行われた。

・5年間の経営発達支援計画の目標値が他商工会に比較して、また職員の数からみてもかなり高く設定されているにもかかわらず、ほぼ毎年どの事業においてもクリアし、素晴らしい成果を残している。

・次期経営発達支援事業計画においては、職員の働き方も考慮にいれ、効率的に支援ができるよう配慮して、実践いただきたい。